



HELP

English Language Program

ヘルプとは

ヘルプの創立は1996年、フィリピンにある英語学校の中で「最も歴史のある学校」です。教育都市として名高いバギオ地域に2キャンパス（ロンロン校・マーティンス校）、首都マニラ近郊のクラーク経済特区内に1キャンパス（クラーク校）、計3キャンパスを展開しています。また、ロンロン校にはインターナショナルカレッジ「Concordia College of Benguet」が内在し、クラーク校にはオンライン英語教育センター「IBT Core Ivoline」が併設されています。ボーディングスクールのパイオニアとして始まったヘルプは、教育の幅広い分野で注目されています。



ロンロン校



マーティンス校



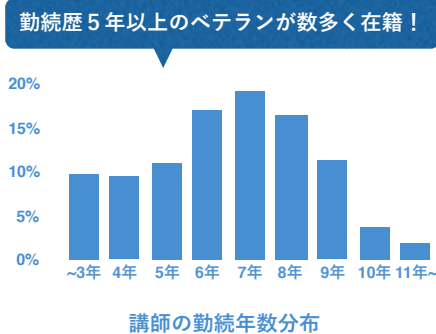
クラーク校

ヘルプの強み

質の高い講師陣

フィリピンの英語教育を支える英語講師の現状は、数ヶ月から半年に渡る短期間の雇用契約です。年間の繁忙期・閑散期により、卒業した学校を1年後に訪問したら、講師の大半が入れ替わっていたということも珍しくありません。短期契約にも多くの優秀な講師はいますが、経験不足や学校の教育方針の理解が不十分なこと等を理由に、教育のムラができてしまうことも事実です。

対してヘルプでは「常勤講師率90%以上」を維持することで、安定して高水準の教育を提供しています。また、やむなく短期契約で講師を雇い入れる場合も、併設する自社のオンライン部署・信頼あるエージェントを通して、講師経験の豊富な講師を確保することに注力しています。



※常勤：2年以上の長期契約保持者かつフルタイム勤務（社内規定の試用期間の後、教育能力・各英語試験を満たした講師に常勤講師認定）

徹底した学習環境づくり

ヘルプでは、複数ある目的別キャンパス、各キャンパス内のレベリングシステム、多様なコース展開によって、学生を実力ごとに細かく分類することで最適な環境づくりに努めています。また、全ての校舎で「門限規則」「イングリッシュオンリーポリシー」を採用しています。校内の風紀を保ち、学生が互いに高め合える真面目な雰囲気を作ることに注力しています。

高水準教育へのアプローチ

ヘルプは講師の質と独自のカリキュラムにより、理想の教育にアプローチしています。講師の質が高いからこそできる学生個々に合わせた柔軟な授業展開、マンツーマン教育を主体とする一日のスケジュール、早朝・放課後の特別グループ授業、昼下がりの発音・抑揚チェック、毎晩の単語テスト等、ヘルプの教育には学生が成長するための要素が沢山詰まっています。

3つのキャンパス

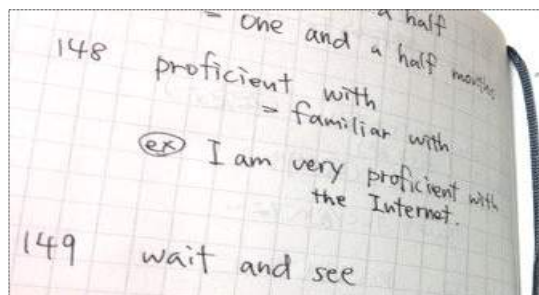
キャンパス間の転校制度

隔週のタイミングでキャンパス間の移動が可能です。「もう少し厳しい環境で学びたい」「もう少しリラックスして学びたい」「テスト対策に特化したい」等、現地で感じるミスマッチや留学開始後の方針変更にも柔軟な対応を行うことができます。

※キャンパス間の移動に際して、入学金の再納付は不要です。
※マーティンス校への移動には、転校テストをパスする必要があります。
※キャンパス移動後、元キャンパスに戻ることはできません。
※移動希望日の3週間前までに申請が必要です。
※費用が異なる場合、差額の費用を現地にて徴収します。

プログレスノートの採用

ヘルプの授業では、講師が自ら学生の誤り項目を学生のノートに記録します。文法・発音など、学生が定常的にするミスをもそのままにしないための取り組みです。学生の成長要素が詰まったプログレスノートは、日々の学習内容の定着に大きく貢献します。



発音チェック

ヘルプでは、毎朝リスニングクラスを開講しています。さらに、当日午後にはその内容を元にしたシャドウイング試験を実施しています。試験は講師とマンツーマンで行われ、試験後にはスピーキングに関するフィードバックがされます。（発音・フレーズの捉え方等）



ロンロン校

バギオ地域の大自然溢れる絶景地にある「ロンロン校」は、初中級者向けのキャンパスとして位置付けがされています。スパルタ式英語教育のため、校則は厳しく保たれ、学習面は細やかな管理がされています。広大な敷地を持つロンロン校の一つの大きな特徴は、学生寮やジム、カフェテリアなどの娯楽施設に加えて、インターナショナルカレッジ（コンコーディア大学）がキャンパスに統合されていることです。

ロンロン校は日本人比率が低いため、日頃の生活シーンでも多くの英語を使うチャンスがあります。また、初中級者向けのキャンパスであるため、英会話コースでは学生の進捗・意欲に合わせて講師が丁寧に解説を行いながら授業が展開されます。



アピールポイント

- ・ 誘惑のない学習環境（山奥に位置、厳しい校則、日本人比率5%）
- ・ プレゼンテーションやスピーチ等、成長に必要なアウトプットの場を多く提供
- ・ 初中級者に教え慣れた有能な講師が多数在籍
- ・ 初中級者に最適化したテスト対策コース（TOEIC/TOEFL/IELTS）

マーティンス校

バギオの中心街にある「マーティンス校」は、上級者向けのキャンパスとして位置付けされています。入学選抜試験を設けることにより、教育の質・生活環境だけではなく、高い志を持った学習意欲のある学生が多く集まります。上級者向けのテスト対策コース（TOEIC/TOEFL/IELTS）を取得したい学生にお勧めのキャンパスです。他キャンパスの在校生も内部転校試験を通過することによって、マーティンス校に転入することができます。



アピールポイント

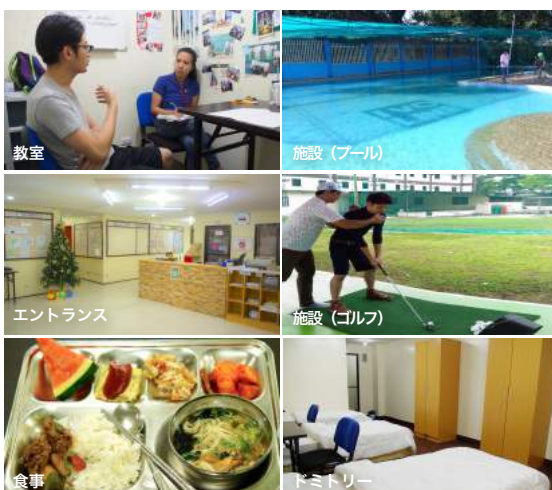
- ・ IELTS公式試験会場校（マーティンス校 6F が会場です）
- ・ EOP徹底校（平日全域24時間）
- ・ 日本人比率20%
- ・ 入学試験合格者のみ入学可
- ・ IELTS/TOEFL対策に強み（ベテラン講師を多く配置）

※点数保証コースあり。保証スコアは以下のとおり。（保証コースは12週間のコースです）

コース内容	IELTS				TOEFL				
保証スコア	5.5	6.0	6.5	7.0	61	70	80	90	100
エントリースコア	4.0	5.0	6.0	6.5	40	50	65	77	88

クラーク校

学習と余暇にメリハリが欲しい！そんな方には「クラーク校」をお勧めします。クラーク校は経済特区内に位置するため、抜群に良い治安と南国ならではの気候が特徴です。クラーク校に限り、平日でも毎日の外出が可能です。周辺には多くの観光地や娯楽施設があります。また、クラーク国際空港は車で3分の位置にあるため、気軽にセブ・ボラカイ・ボホール等のリゾート地にアクセスできます。



アピールポイント

- ・ 校内に娯楽施設あり（プール、ゴルフ、卓球台、売店）
- ・ 平日外出可能（月曜～木曜：18:00-20:00 | 金曜：18:00-24:00外出可）
- ・ 治安の良いクラーク経済特区に立地、ビーチに容易にアクセス可能
- ・ クラーク国際空港まで車で3分でアクセス可
- ・ 上級者向けコースを開講（ネイティブコース、ビジネスコース）
- ・ リーズナブルな6人部屋オプション

柔軟な受け入れ体制

多くのコース展開・レベル展開を行っているため、初級者から上級者まで様々なニーズに対応することができます。本格的なスパルタ教育が苦手な方でも、安心して就学することができます。また、南国地域ならではの若くてエネルギーに漲るフィリピン講師陣がフレンドリーに学習をサポートします。バギオ地域の2キャンパスとは大きく雰囲気の異なるキャンパスです。

1日のスケジュール (例)

AM 7:00 起床&朝食	
AM 7:30 早朝クラス 30分	
AM 9:00 個人クラス 4時間	
PM 12:00 昼食	
PM 1:00 グループクラス 1時間	
PM 1:50 早朝クラスのチェック 5分	
PM 2:00 個人クラス 2時間	
PM 4:00 休憩 1時間	
PM 5:00 特別クラス 1時間	
PM 6:00 夕食	

⋮
自習、自由時間、就寝

お申し込み方法

留学代理店へ問い合わせをお願いします。長期休みシーズンは非常に混み合うため、満室にてお受け入れができない場合がございます。検討中でも構いませんので、留学をお考えの場合は早めのコンタクトをお願いします。ご不明な点・お気付きの点などございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

※ロンロン・マーティンス校への申込は2週単位、クラーク校は1週単位です
※1プログラムは4週間単位、プログラム中の担任講師は固定です。

ヘルプ学生が伸びるワケ

ヘルプはスパルタ式の英語教育を採用しています。オーソドックスな手法ですが、朝から晩まで「多読・多聴」と「精読・精聴」をバランス良く繰り返すことによって、英語脳を徹底的に鍛え上げます。また、1日のスケジュールに「単語テスト」「発音確認」の要素を独立して設けることで、英語の伸び悩みを回避し、確実かつ飛躍的に英語力を向上させます。

ポイント

- ・個人クラス主体のカリキュラム (4~8コマのマンツーマン教育)
- ・早朝クラスによるウォーミングアップ (リスニング特化クラス)
- ・毎晩の単語テスト (ボキャブラリー強化)
- ・模擬テスト、プログラム末テスト (習熟度の確認)
- ・日本人同士も英語でコミュニケーション (英会話慣れへの取り組み)
- ・平日の外出禁止 (勉強に集中できる環境づくり)
- ・プログレスノート (文法・発音チェック、復習の効率化)

スパルタ式を採用する理由

スパルタ式の教育を採用する理由は、より多くの人に「限られた期間の中で最大限の結果」を出していただくためです。濃厚なカリキュラム・真面目な学習環境は「真剣に英語力向上を考える学生」を集めます。ヘルプでの留学は勉強漬けになるため大変だと思いますが、学校のカリキュラムを継続することで英語学習は必ず実を結びます。また、厳しい環境で学ぶことによって得られるものも多くあります。キャリア、海外進学、ワーキングホリデー等、人によって英語を学ぶ動機は様々ですが、英語に関わる分野では、英語はできるに越したことはありません。スパルタ式の教育は万人受けする手法ではありませんが、真面目な環境で学びたい方、厳しい環境に身を置きたい方には大きなメリットがあります。

指定入学日

2017年 5月29日、6月12日、6月26日、7月10日、7月24日、8月7日、8月21日、9月4日、9月18日、10月2日、10月16日、10月30日、11月13日、11月27日、12月11日、12月25日

2018年 1月8日、1月22日、2月5日、2月19日、3月5日、3月19日、4月2日、4月16日、4月30日、5月14日、5月28日、6月11日、6月25日、7月9日、7月23日、8月6日、8月20日

※太字：プログラム開始週 ※クラーク校のみ毎週受け入れが可能です。

空港から学校までのアクセス (団体ピックアップサービス)

指定入学日の前日 (日曜夜)、マニラ空港の指定場所および指定時刻に学校スタッフが新生生のピックアップを行います。